

令和4年度 金沢市産学連携・先端ものづくり技術交流セミナー

自動運転技術の最前線と、電動化への取り組み ～モータ製造会社の挑戦～

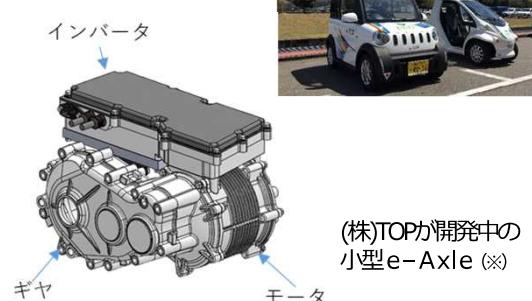
現在、完全自動運転技術の確立及び車の電動化のために世界中がしのぎを削っています。

本セミナーでは、前半に国内大学初の公道走行実証実験を行うなど、先駆的な役割を果たしてきた金沢大学における自動運転技術研究の最新状況をご紹介いたします。

後半は、大手モータ製造メーカーの子会社が親会社から独立後、自動車関連モータの製造に活路を見出し、自動車業界に参入を果たした企業の奮闘をご紹介いたします。

※e-Axle・・・モータを主動力とする電気自動車などが「走る」ために必要なギア、モータ、インバーターなどの主要部品を1つにまとめ、パッケージ化したもの。

(株)TOPで開発中のモータが搭載されている超小型電気自動車



日時 2023年3月14日(火) 14:00~16:30

会場 Zoomを利用したオンライン配信

対象 ものづくりに携わる企業・個人事業主、研究開発機関、行政機関等の方

参加費
無料



参加申込みはこちら

金沢大学による市街地向け自動運転の取り組み紹介

第1部

講師：米陀 佳祐 氏

(金沢大学 新学術創成研究機構
未来社会創造研究コア
自動運転ユニット 准教授)

金沢大学では2015年より市街地向け自動運転の実証実験を開始しており、石川県、東京都、北海道などの幅広い環境での実証実験を進めています。本セミナーでは金沢大学の自動運転技術の取り組みについて紹介致します。

モータ新会社の創業と自動車業界への参入について

第2部

講師：山本 恵一 氏

(株式会社TOP 代表取締役会長（兼）社長)

自動車業界の電動化と超小型モビリティ用e-Axleの開発について

講師：佐々木 健治 氏

(株式会社TOP 執行役員 技術部長)

株式会社TOPは福井県武生（現 越前市）の地元に根差す新会社として設立し、自動車用を中心としたモータの開発・製造・販売を行っており、これまでに培った技術開発・生産技術・製造力をコア・コンピタンス（※）として、お客様との共同開発やTOP独自開発を推進しています。

今後、自動車業界は電動化に向け大きく変化します。それを予測し、モータの小型・高効率化に取り組み、制御部とギア部を含め一体化した小型e-Axleについて紹介します。

※コア・コンピタンス・・・他社に真似できない核となる能力

講師プロフィール

米陀 佳祐 (よねだけいすけ) 氏

金沢大学 新学術創成研究機構 未来社会創造研究コア 自動運転ユニット 准教授

2012年に北海道大学 大学院情報科学研究科 自律系工学研究室 博士後期課程を修了。2012年から2015年まで豊田工業大学スマートビークル研究センター 博士研究員として小型電気自動車の自動駐車や自動運転の周辺環境認識に関する研究に従事。2015年より金沢大学 新学術創成研究機構 未来社会創造研究コア 自動運転ユニットの助教として市街地向け自動運転の実証実験を中心に自動運転の認知・判断技術の研究に従事。2020年より同准教授。

山本 恵一 (やまもと けいいち) 氏

株式会社TOP 代表取締役会長（兼）社長

1973年にモータ製造メーカーに入社し、主に国内・海外の家電・小型モータ製造部門を担当、2003年に株式会社TOPを設立、取締役として製造事業部門を担当、2006年に同社社長、2020年に同社会長（兼）社長に就任し、現在に至る。

佐々木 健治 (ささき けんじ) 氏

株式会社TOP 執行役員 技術部長

1993年にモータ製造メーカーに入社し、主にモータ技術開発を担当、その後商社での営業などを経て、2011年より株式会社TOPに入社し、技術開発を担当、2020年より同社執行役員に就任し、現在に至る。

「先端ものづくり技術交流セミナー(第3回)」参加申込書

企業名			
所在地	〒		
TEL			
参加者	役職	氏名	E-mail

※お申込みいただいた方には、今後、金沢市からセミナー等のご案内を差し上げる場合がございます。

- 申込方法 : ①「金沢市電子申請サービス」を利用したオンライン申請
②E-mail または FAX(076-240-1903)による申請
のいずれかによりお申込みください。

- 申込先 : 金沢市産学連携事業運営委員会事務局
金沢市異業種研修会館 担当 山下
TEL:076-240-1934
FAX:076-240-1903
E-mail:igousyu@city.kanazawa.lg.jp

- 申込締切 : 令和5年3月8日（水）

申込方法等の詳細は、Webサイト
「金沢市産学連携
ネットワーク」
をご覧ください。



金沢市産学連携ネットワーク

検索